

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日)

令和6年5月14日(火)

公益財団法人DNP文化振興財団

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 アーカイブ関連事業

(1) 田中一光アーカイブ

①本人作品ポスター	2,753点
版画	257点
エディトリアル	2,321点
原画類	3,542点
その他(パンフ/V.I.等)	2,885点
②資料写真	28,004点
その他資料類	2,415点
③他作家作品ポスター・版画等	1,137点
その他	162点
④蔵書	9,829点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

①本人作品ポスター	1,576点
版画	178点
原画類	978点
その他(クラフト作品等)	533点
②資料 書籍等	597点
③他作家作品ポスター・版画	2,571点

(3) 永井一正作品アーカイブ

①本人作品ポスター	976点
版画	328点
エディトリアル	1,275点
原画類	797点
その他(V.I.等)	789点
②資料 作品ポジ	646点
その他資料類	2,126点
③他作家作品ポスター・版画等	153点
その他(蔵書等)	63点

(4) ポスターアーカイブ (令和6年3月末現在)

1 収蔵作家：244名 (国内作家124名 海外作家120名)

2 総点数：18,428点

3 令和5年度の受入れ状況：

[国内作家]

宇野亞喜良 23点

谷口広樹 94点

永井一正 66点

クリエイションギャラリーG8

展覧会ポスター 392点

[海外作家]

ソール・スタインバーグ 175点

合計 750点

(5) アーカイブ作品の貸出

① 奈良県立美術館

開館50周年記念 特別展「田中一光 デザインの幸福」

会期：令和5年4月22日～6月11日

概要：田中一光作品17点、木田安彦作品1点を貸出

② クリエイションギャラリーG8

「THE ENDING '23」

会期：令和5年8月1日～9月2日

概要：宇野亞喜良作品8点、山口はるみ作品8点を貸出

③ 21_21 DESIGN SIGHT

「もじ イメージ Graphic 展」

会期：令和5年11月23日～令和6年3月10日

概要：浅葉克己、井上嗣也、葛西薫、亀倉雄策、ヘルムート・シュミット、田中一光、山城隆一、横尾忠則、以上8作家の作品8点を貸出

④ 広東美術館 (中国)

「広州デザイントリエンナーレ2024」

会期：令和6年1月16日～5月31日

概要：永井一正作品22点を貸出

2 展示関連事業

(1) ギンザ・グラフィック・ギャラリー (ggg) の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル 1階、地下1階
日曜・祝日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

■第 394 回 TDC 2023

会 期：2023 年 3 月 31 日～4 月 28 日

入場者：8,869 人、一日平均 355 人

東京タイプディレクターズクラブが主催する、グラフィックデザインの国際コンペティション「東京 TDC 賞 2023」の展覧会です。国内外からの応募 3,679 作品から受賞・ノミネート作品を含めた約 130 点を展示しました。

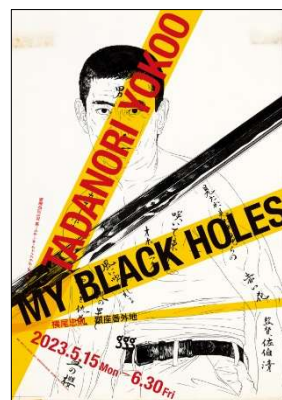


■第 395 回 横尾忠則 銀座番外地

会 期：2023 年 5 月 15 日～6 月 30 日

入場者：10,752 人、一日平均 262 人

ggg では 4 回目となる横尾忠則氏の個展です。出品作品は、ポスター・書籍などの完成品ではなく、制作段階のラフスケッチ、アイデアノート、ドローイング、原画、コラージュ、版下、色指定紙等、これまで公開されることのなかった約 250 点で構成し、横尾氏の「デザイン表現のプロセス」を紹介しました。

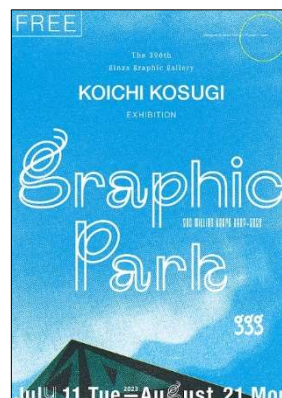


■第 396 回 小杉幸一 グラフィックパーク

会 期：2023 年 7 月 11 日～8 月 21 日

入場者：7,196 人、一日平均 212 人

アートディレクター、クリエイティブディレクターの小杉幸一氏の個展です。開催時期の夏にふさわしく、ggg をグラフィックのテーマパーク「グラフィックパーク」に見立てた会場構成を試みました。小杉氏が手掛けてきた広告デザインやキャンペーン、CI デザイン、ブランド開発などの代表的な仕事を、遊び心満載の会場で紹介しました。

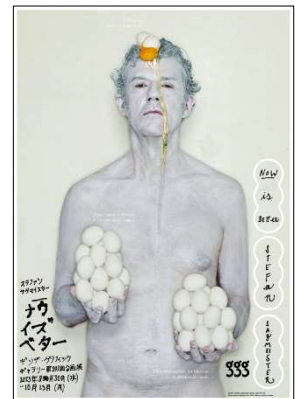


■第 397 回 ステファン・サグマイスター ナウ・イズ・ベター

会 期： 2023 年 8 月 30 日～10 月 23 日

入場者： 6,714 人、一日平均 153 人

ニューヨークを拠点に活躍するグラフィックデザイナー、ステファン・サグマイスターの個展です。ggg では 20 年ぶりの開催となります。戦争、気候変動、自然災害など、世界には暗いニュースがあふれていますが、人類の歩みを 100 年単位で考えれば、世界が着実に良くなっていることも事実です。本展では、「ナウ・イズ・ベター」という展覧会タイトルのもと、犯罪発生率や貧困率など、さまざまな統計データをグラフィカルに視覚化し、広いタイムスパンで見た、世の中の変化を表現した作品を展示しました。

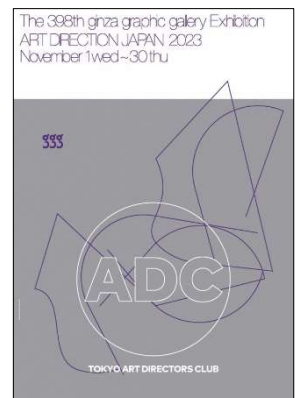


■第 398 回 日本のアートディレクション展 2023

会 期： 2023 年 11 月 1 日～11 月 30 日

入場者： 5,795 人、一日平均 241 人

毎年恒例の ADC 賞受賞作品展。昨年度までは ggg で会員作品、クリエイションギャラリーG8 で一般作品と、2 会場で開催しましたが、今年度より ggg のみの開催となりました。グランプリを受賞した中村勇吾氏によるビデオゲーム「HUMANITY」をはじめ、2022 年 6 月から 2023 年 5 月までに発表された約 6,000 点の応募作から受賞作品とノミネート作品を展示しました。会期中、中村勇吾氏と田中良治氏によるギャラリートークを開催、YouTube でライブ配信もしました。

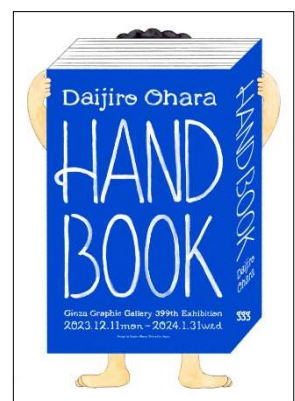


■第 399 回 Daijiro Ohara HAND BOOK

会 期： 2023 年 12 月 11 日～2024 年 1 月 31 日

入場者： 7,639 人、一日平均 227 人

グラフィックデザイナー、大原大次郎氏の個展。グラフィック社から出版された大原氏の初の作品集とともに、「HAND BOOK」という展覧会タイトルで、大原氏の仕事を紹介しました。展覧会では、音楽関係の仕事を中心に、書籍や映像制作など幅広い分野の作品を展示。文字や作字をキーワードに、これまでの仕事や自主活動の完成までのプロセスを展示しました。

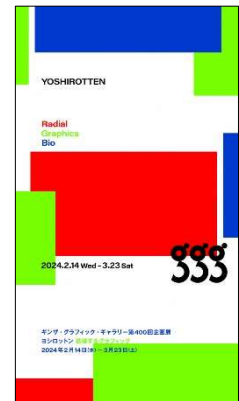


■第 400 回 ヨシロットン 拡張するグラフィック

会 期：2024 年 2 月 14 日～3 月 23 日

入場者：6,795 人、一日平均 212 人

グラフィックデザイン、映像作品、立体作品、広告などで幅広く活動するヨシロットン氏の個展。1 階ではヨシロットン氏の活動の原点ともなった PC モニターの「RGB」の光で表現した「RGB Punk」シリーズや、鑑賞者がボタンを押してインタラクティブできる「RGB Machine」を展示。地階ではヨシロットン氏の過去 15 年間の作品をモニターにランダムに投影するインスタレーションを展示しました。



(2) 京都 d d d ギャラリー (d d d) の展示

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 620 COCON 烏丸 3F
月曜・祝日の翌日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

■第 236 回 エディション・ノルト | ファクトリー dddd：被包摂、絡合、派生物

会 期：2023 年 3 月 21 日～5 月 21 日

入場者：3,655 人、一日平均 69 人

アートブック・レーベル、エディション・ノルトの展覧会。エディション・ノルトは身近な材料で、手づくりの本を制作するユニークな活動で知られ、国内外で高く評価されています。本展では、会場を工房に見立て、来場者も実際に本を制作できるという実験的な展示を行いました。展覧会名の「dddd」は、ギャラリー名の ddd に「d」を足して、継続する生産を想起させるように意図したものです。

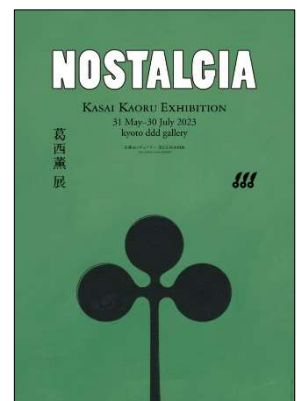


■第 237 回 葛西薫展 NOSTALGIA

会 期：2023 年 5 月 31 日～7 月 30 日

入場者：3,518 人、一日平均 65 人

グラフィックデザイナー、アートディレクター、葛西薫氏の個展。2021 年に ggg で開催されたものを再構成しました。「NOSTALGIA」とは、現代社会が喪失しつつあるユーモアやペース、知性や無邪気さに対する郷愁を意味しています。葛西氏ならではの柔らかいながらも機知に富んだ作品群でノスタルジアの世界を表現しました。



■第 238 回 ソール・スタインバーグ シニカルな現実世界の変換の試み

会 期： 2023 年 8 月 9 日～10 月 15 日

入場者： 4,994 人、一日平均 88 人

ggg で開催された日本初の回顧展の巡回。ソール・スタインバーグ財団より寄贈されたポスター、リトグラフ、エッチング、ドローイングなど、約 170 点の作品を展示しました。思わず微笑んでしまいたくなるユーモアのなかに、シニカルなアイロニーを含む、スタインバーグ作品の魅力を紹介しました。



■第 239 回 はみだす。とびこえる。絵本編集者 筒井大介の仕事

会 期： 2023 年 10 月 25 日～2024 年 1 月 7 日

入場者： 4,968 人、一日平均 84 人

絵本編集者・筒井大介氏が手掛けた絵本と原画を、52 名の作家たちの言葉とともに展示しました。筒井氏は、いわゆる絵本作家だけでなく、他ジャンルの作家や新人作家とのコラボレーションを通して、絵本の可能性を拡張してきました。来場者には、従来のグラフィックデザイン愛好家とは異なる絵本ファンの姿が目立ち、ddd の潜在的な来場者層を開拓できました。



■第 240 回 MIRROR/MIRROR:カナダ・日本 現代版画ドキュメント

会 期： 2024 年 1 月 17 日～3 月 17 日

入場者： 3,509 人、一日平均 72 人

版画芸術が盛んなカナダと日本のアーティスト、計 16 作家によるグループ展です。企画は、長年カナダの版画家と交流してきた、京都市立芸術大学教授・木村秀樹氏。展示作品は、いずれも、版画技法をもちいながらも従来の版画概念を大きく拡張した現代美術作品で、現代の版画表現の最先端を紹介しました。日本側の参加作家は関西圏の美術大学の関係者が多く、本展も、従来のグラフィックデザイン愛好家とは異なる美術関係者の来場者が目立ちました。



3 教育・普及関連事業

(1) ギャラリートーク（セミナー）

ギャラリーでのトークイベント開催の他、YouTube で作家トークや解説動画等、注目クリエイターたちによる対談の音声コンテンツを配信しました。

ギンザ・グラフィック・ギャラリー（g g g）

- 「日本のアートディレクション 2023」 トークイベント
（出演：中村勇吾 + 田中良治）
- 「Daijiro Ohara HAND BOOK」展
 - ・ トークイベント（出演：大原大次郎 + 角張渉）
 - ・ クロージングイベント
（出演：大原大次郎 + 高橋秀之 + 小野田将 + 草間翔太）
- 「YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio」 トークイベント
（出演：YOSHIROTTEN + 河尻亨一 + 西野慎二郎）



京都 d d d ギャラリー（d d d）

- 「ファクトリー-dddd」展
 - ・ オンラインレクチャー（出演：秋山伸）
 - ・ オンラインレクチャー 補遺 appendix（出演：秋山伸）
 - ・ オンライントーク（出演：秋山伸、マキシム・コルニエ）
 - ・ オンライントーク（出演：秋山伸、加藤直徳、加納大輔）
 - ・ ワークショップ&トーク
（出演：秋山伸、松田洋和、吾郷亜紀、佐藤吉悠、吉見嶺）
- 「NOSTALGIA」展トークイベント（出演：葛西薫）
- 「筒井大介の仕事」展トークイベント
（出演：筒井大介、ミロコマチコ、漆原悠一）
- 「MIRROR/MIRROR」展シンポジウム
（出演：デレク・ベサント、木村秀樹他、参加作家 16名）



(2) YouTube 音声対談企画

- 後藤哲也 × 久慈達也 × 見増勇介
- 仲村健太郎 × 小林佳代子 × 見増勇介
- 八木良太 × 見増勇介



(3) 図録等の発行と頒布

令和5年度は以下の4点を発行しました。

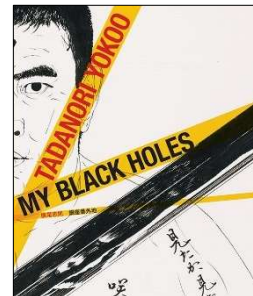
ggg Books

- 『ggg Books 134 小杉幸一』
広告デザインやキャンペーン、CI デザイン、ブランド開発など代表作の数々を掲載。
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）
- 『ggg Books 135 大原大次郎』
タイポグラフィを基軸としたグラフィックデザイン、イラストレーション、映像作品など代表的な作品を紹介。
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）
- 『ggg Books 136 ヨシロットン』
今まで携わったクライアントワークやアートプロジェクトなど幅広く紹介。
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）



展覧会作品集

- 『横尾忠則 銀座番外地』
アートディレクション：横尾忠則、デザイン：相島大地（ヨコオズ・サーカス）
「デザインのプロセス」に焦点を当てた約 200 点の展示作品を掲載。
30×25 cm、148 ページ、価格：3,300 円（税込）



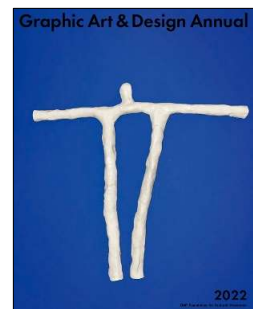
(4) アニュアルレポート

令和4年4月から令和5年3月までの活動をまとめたアニュアルレポート『Graphic Art & Design Annual 2022』を発行しました。

表紙デザイン：高田唯

序文：ジヤンピン・ヘ

A4 変型判、96 ページ、非売品



4 国際交流関連事業

(1) AGI (国際グラフィック連盟) 日本会員事務局サポート

AGI 総会が、2023 年 9 月 17 日から 23 日にニュージーランド・オークランドで開催され、財団は日本会員事務局として参加しました。今回、日本会員は浅葉克己氏、佐藤卓氏、原研哉氏が参加されました。



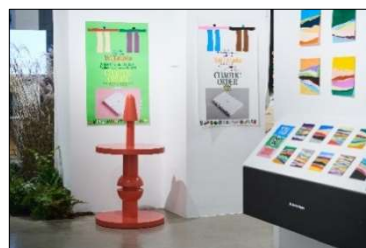
(2) 広州「第 1 回広州デザイントリエンナーレ」に協力

2024 年 1 月、香港のグラフィックデザイナー、タンリー・ウォン氏がキュレーターとして参画した第 1 回広州デザイントリエンナーレに、永井一正氏の作品「LIFE」シリーズ 22 点の出展協力を行いました。



(3) 上海「Yui Takada Chaotic Order with ori. studio」に協力

2022 年 7 月に ggg で開催した『高田唯 混沌とした秩序』の巡回展が、上海の pidan にて 2023 年 9 月から 10 月に開催され、展覧会ポスター製造の協力を行いました。



(4) 国際交流基金主催 スポーツポスター展巡回展に協力

2021 年から国際交流基金の海外拠点を巡回している、スポーツポスター展に協力しました。本年は、2023 年 1 月 13 日から 4 月 15 日まで、国際交流基金トロント日本文化センターにて開催されました。



(5) ベルリン「食 日本のポスターデザイン」展に協力

財団が協力し、2023 年 1 月に国際交流基金ケルン日本文化会館に巡回開催した「食 日本のポスターデザイン」展が、2023 年 6 月 3 日から 8 月 4 日まで、ベルリン視覚芸術センター (The Center for Visual Arts) に巡回しました。会期中、財団職員によるギャラリーガイドツアーも行われました。



5 研究助成関連事業

(1) 2023年 グラフィック文化に関する学術研究助成

令和5年度は下記の要領で実施し、新規採択14件、継続助成8件、計9,898,000円の助成金を交付しました。

募集テーマ： A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間： 令和5年4月1日～6月16日

助成対象： 研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

応募数： 60件

(A部門 国内39件・海外7件/B部門 国内14件)

選考： 7月～9月 一次審査(申請書類による書類審査)

9月23日 二次審査(DNP銀座ビルにて)

採択研究： 新規採択14件(助成総額637万円)

継続助成 8件(助成総額352万8千円)

詳細は次頁参照

審査委員： 井口 寿乃 埼玉大学大学院教授

加治屋 健司 東京大学大学院教授

菊池 裕子 金沢美術工芸大学教授

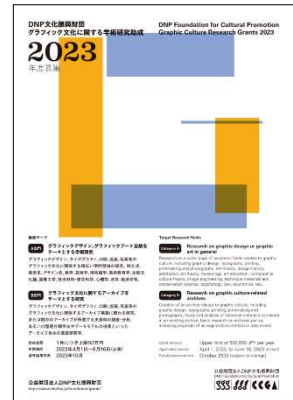
建畠 哲 多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長

永原 康史 多摩美術大学教授、グラフィックデザイナー

並木 誠士 京都工芸繊維大学特定教授、京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長

前田 富士男 中部大学客員教授、慶應義塾大学名誉教授

※五十音順、敬称略、令和6年3月末時点



●令和5年度採択研究（14件）

No.	部門	研究テーマ	研究者	1年目助成額	継続
1	A	境界科学の視覚文化論：グローバル・ヒストリーとしての念写	ハンスン・ショーン ダラム大学 准教授	500,000 円	○
2	A	ロマ民族（ジプシー）のシンボル学	角 悠介 神戸市外国語大学 客員研究員	500,000 円	○
3	A	ジャン=エミール・ラブルールと「独立版画家協会」—20世紀前半のフランスにおける版画の普及運動	高野 詩織 町田市立国際版画美術館 学芸員	500,000 円	
4	A	木版画を媒体とした現代美術の実践：インドネシア・マレーシアを事例として	廣田 緑 国際ファッション専門職大学 准教授	500,000 円	○
5	A	〈紙的思考〉：戸田ツトムによる文明批評	デンニツァ・ガブラコヴァ ウエリントン・ヴィクトリア大学 上級講師	200,000 円	
6	A	デジタル時代における楽譜印刷と音楽文化の相互的影響関係に関する研究	関 慎太郎 日本学術振興会 特別研究員 DC2	500,000 円	○
7	A	小川一真が結んだ人と国：明治期における写真での日英交流	清水 由布紀 津田塾大学 助教	500,000 円	○
8	A	近代日本における「ブツ撮り」写真—1920年代から60年代を中心に	芦高 郁子 滋賀県立美術館 学芸員	500,000 円	○
9	A	版画集団 MAXI GRAPHICA 研究—地域と版表現の関係性	堀本 宗徳 大坂公立大学 博士前期課程	200,000 円	
10	A	南アジアおよび東南アジアのグラフィック文化におけるラーマヤナ	アナンディ・ラオ ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院 南アジア研究所講師	500,000 円	○
11	B	中国と日本に現存する中国イスラームの絵画・書道・ポスターの調査：目録とアーカイブの構築を目指して	海野 典子 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 講師	500,000 円	○
12	B	泰山製陶所のデジタルアーカイブズの構築	坂口 英伸 東京藝術大学 教育研究助手	500,000 円	○
13	B	1930-40年代における猪熊弦一郎の雑誌表紙絵に関する調査研究とデジタルアーカイブ公開	吉澤 博之 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸課 レジストラ	500,000 円	○
14	B	東アジアのタイポグラフィ：2000年から現在までの傾向について—国際タイポグラフィビエンナーレ Typojanchi を通して—	徐 慧 滋賀県立大学 人間文化学部 生活デザイン学科 専任講師	470,000 円	○

新規採択の助成総額 6,370,000 円

●令和4年度採択研究継続助成（8件）

No.	部門	研究テーマ	研究者	交付額 下段は昨年度交付額
1	A	記念用プリント・テキスタイルにみる近代：国民国家・伝統・エスニシティの表象	門田 園子 お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 特別研究員	500,000 円 (500,000 円)
2	A	戦前期日本のポスター史、デザイン文化史	田島 奈都子 青梅市立美術館 学芸員	497,000 円 (499,200 円)
3	A	ポスタルメディアにみる女子スポーツの身体表象：戦前期日本の運動会を中心として	崎田 嘉寛 北海道大学大学院教育学研究院 准教授	400,000 円 (450,000 円)
4	A	教育者としての上野リッチー戦後デザインへの影響―	牧田 久美 京都市立芸術大学芸術資源研究センター 客員研究員	400,000 円 (400,000 円)
5	A	工場と芸術―戦後日本社会における絵画と生の近接性	鯖江 秀樹 京都精華大学 准教授	450,000 円 (460,000 円)
6	B	「アノニマスな記録」としての写真：1960年代後半から70年代前半日本における写真のリアリズムについて	久後 香純 ニューヨーク州立ビンガムトン大学 博士課程大学院生	400,000 円 (400,000 円)
7	B	デジタル時代におけるキリシタン版：デジタル手法による「キリシタン版」探索の可能性と限界に関する考察	モリス ジェームズ・ハリー 早稲田大学 准教授	481,000 円 (481,000 円)
8	B	復興する東北沿岸部で行われたリフォトグラフィー・プロジェクトのアーカイブ	マクラウド ギャリー 筑波大学 准教授	400,000 円 (400,000 円)

継続助成の助成総額 3,528,000 円

助成総額の合計 9,898,000 円

(2) 令和5年度協賛助成実績 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	対象	主催	年月	金額	備考
1	第34回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部	2024/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。

(3) 会員参加

以下の団体の会員となっています。

1. 東京イラストレーターズ・ソサイエティ / 賛助会員
2. 東京アートディレクターズクラブ / 賛助会員
3. 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 / 賛助会員
4. 東京タイプディレクターズクラブ / 法人・団体会員
5. 公益財団法人助成財団センター / 会員
6. 東京アート&ライブ構想実行委員会 / 会員

6 会議の開催

●第37回理事会

(令和5年5月23日)

理事会決議の省略の方法による(定款第37条第2項)

- 提案(1) 令和4年度(4月1日～3月31日)事業報告および収支決算について
- 提案(2) 評議員会の招集について

●第16回 評議員会

(令和5年6月8日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1

およびオンライン会議システム(T e a m s)

- 第1号議案 議長の選任について(決議事項)
- 第2号議案 議事録署名人の選出について(決議事項)
- 第3号議案 令和4年度事業報告書について(報告事項)
- 第4号議案 令和4年度計算書類等について(決議事項)
- 第5号議案 田中一光アーカイブの京都への移転について(報告事項)

●第38回 理事会

(令和5年6月8日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1

およびオンライン会議システム(T e a m s)

- 第1号議案 令和4年度利益相反取引の承認について(決議事項)
- 第2号議案 理事長および専務理事の業務執行状況について(報告事項)

●第39回理事会

(令和6年3月18日)

理事会決議の省略の方法による(定款第37条第2項)

- 提案(1) 理事長(代表理事)の選定について
- 提案(2) 令和6年度 寄付金の受入について
- 提案(3) 令和6年度事業計画、予算計画について
- 提案(4) 令和6年度利益相反取引の承認について
- 提案(5) 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- 提案(6) 役員候補者の推薦について
- 提案(7) 評議員選定委員の選任について
- 提案(8) 評議員候補者の推薦について
- 提案(9) 研究助成審査委員の選任について
- 提案(10) 特定費用準備資金について
- 提案(11) 令和5年度 研究助成プログラムの助成金交付について
- 提案(12) 令和6年度 協賛計画書について

以上